

子ども会育成だより

飯山市子ども会育成連絡協議会

編集・発行 飯山市子ども会育成連絡協議会広報部

事務局 市教委市民学習支援課社会教育係

TEL 62-3342 (飯山市公民館)

～我がふるさと みんななかよく 助け合い～

「毎日通学で通る場所が きれいになってよかった！！」

<参加者の感想より>

いいやま共育フェスティバル2021 各地で開催



常盤地区

7月10日(土)を基準日として、今年も各地区において「いいやま共育フェスティバル2021」が開催されました。各集落(字町)子ども会・育成会が中心となり、子どもから大人まで大勢の皆様にご参加いただきました。

今年は大変暑い日が多かったですが、密にならないよう分散しておこなったり、早朝の涼しい時間に実施するなど、育成会ごとに工夫して取り組んでいただきました。取組内容はゴミ拾いやお宮などの清掃活動などが多く、他には花植えなどの取組がみられました。

子どもから高齢者まで幅広い年齢層が一度に集まる貴重な機会と捉えて、ボランティア活動にご協力いただいたすべての皆さま、大変ありがとうございました。

◆ ◆ 参加者の感想 ◆ ◆

○暑い中、子どもたちが元気いっぱいゴミ拾いした。街道が大変きれいになり良かった。

○小学生が全員参加して真剣に掃除に取り組んでくれた。

○子ども会で清掃してくれると大変助かります。



飯山地区

○ペットボトルやたばこの吸いながら、とても多く大人のマナーの悪さを感じました。
 ○大人の良いことも悪いことも子どもたちは、マネをしてしまう。早急に対策必要。
 ○日頃、下を向いて歩くこともないのでゴミの多さに驚いた。
 ○朝早くて眠かったけどきれいになって良かった。



○子どもたちが協力し合い活動していた。
 ○コロナ禍で何のイベントもないので集まれる機会を作れて良かった。
 ○花の定植を行いました。きれいに咲くのが楽しみです。
 ○クリーン作戦の効果でゴミが減った。



○今後も続けていけると良いと思う。
 ○親子で分担しながらの活動なのでこれからも続けていきたい。
 ○地区の協力体制がありがたい。



○お祭りなどの行事がなく使われていなかったで、とても汚れていたがきれいになって良かった。
 ○久々のイベントで子どもたちのうれしそうな顔をみることができた。
 ○ゴミが落ちていないと子どもたちはびっくりしていました。



○みんなで協力してできて良かった。
 ○これからも続けていきたい活動です。
 ○親子で作業してとても有意義になった。
 ○コロナ禍のためか紙マスクがたくさん落ちていた。



○雑巾がけすると雑巾がまっくろになってびっくりした。
 ○暑かったけどしっかりゴミを拾えて良かった。

○久しぶりにコロナ禍の中、近所の子どもたちに会えて楽しそうでした。

○たくさん落ち葉があつてたいへんだった。

○みんなで使う場所がきれいになってよかった。

○子どもも大人も一生懸命作業をおこないました。

○子どもの数が減少してきたが、地域の皆様の協力を引き続きお願いしたい。



岡山地区

「いいやま共育フェスティバル2021」

秋津地区子ども会育成連絡協議会 会長 元山 尚之

昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため秋津地区育成会の行事も相次ぎ中止となりました。今年こそは・・・と開催を楽しみにしていたであろうイベントが中止になり、子どもたちの落胆する顔を想像すると胸が痛くなる想いです。

そんな中、先日「いいやま共育フェスティバル2021」が実施され単区ごとに、ゴミ拾い、神社や駅の清掃などを行い地域環境の整備、住民交流をはかりました。マスクを着用し、間隔をあげ感染対策を講じての活動になりました。ようやく行われたイベントで久々に会う子どもたちの成長に驚き、喜び合う大人たちの姿を見て改めて住民交流の場の大切さを実感しました。

今後、新しい生活様式に変わっていったとしても、交流の場がなくなる事がないよう、地域の宝である子どもたちのはしゃぐ声が響き渡る地区である事を切に願います。



「コロナ禍の育成会活動」

瑞穂地区子ども会育成連絡協議会 会長 藤田まつ美

昨年度は、さまざまな活動が中止となった育成会活動でしたが、今年度はどのような活動が出来るかと悩みながら半年が過ぎました。瑞穂地区育成会でも活動に対しての意見はさまざまでした。しかし、役員の方々が2年目となるコロナ禍、様々な場面で以前のような活動が出来ない子どもたちに育成会活動ではどうにか楽しい活動をさせてあげたいという思いを持っていただいております。有難く思いました。

例年8月に瑞穂育成会のメインイベント「体験の集い」を行っていますが、状況を考慮し、地区全体での集会を中止し各集落での対応としました。ある集落では、地域の整備活動に声を掛けていただき、絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている貴重な“スナヤツメ”という淡水魚を捕獲、大人が環境整備した後に子どもたちが元の場所へ返す活動がありました。貴重な生き物に触れ、地域貢献が出来るよう参加場面を作り、楽しくも貴重な体験の場を地域の方に作っていただき、子どもたちに対する強い思いを感じました。その他でも、子どもたちが楽しめる活動をさまざましていただきました。

今後もしばらくは、出来ることを模索しながらの育成会活動になりますが、健全育成の一翼を担えるよう微力ながら活動を行っていききたいと思います。



←スナヤツメ画像

長野県水産試験場より。

飯山市子ども会育成連絡協議会 「目標」

～地域の子どもは地域で育てる～

①子どもの手による子ども会の育成 ②ジュニアリーダーの育成を図る ③あいさつ運動の推進

上半期の活動から⇒

～総会開催！！新年度スタート～

4月21日（水）、飯山市子ども会育成連絡協議会総会が飯山市民館で行われました。今年度は2年任期の継続期にあたり、会長は引き続き高澤勇一さん（瑞穂地区出身）、副会長には、荒井英喜さん（柳原地区会長）と、栗岩光宏さん（外様地区会長）が就任されました。

今年度もよろしくお願いいたします。



～飯山市青少年育成市民会議会長表彰～

飯山市青少年育成市民会議では、青少年の健全育成に貢献された個人や団体を表彰しています。

6月4日（金）市役所にて表彰式が行われ、市長から表彰状が贈られました。

受賞者 ◆月岡利郎さん（栄村）、大平孝之さん（飯山市瑞穂地区）、常盤少年消防クラブ（飯山市常盤地区）

月岡利郎さん・・・平成24年から9年間、飯山少年警察ボランティア協会会員として補導活動を通じて非行少年等の早期発見や、有害環境の浄化活動等に活躍され、平成26年からは同協会の副会長として活躍されました。

大平孝之さん・・・平成4年から菜の花さかせる会の会員として活躍され、平成25年から令和2年まで会長を務められ、その間、菜の花スクールの指導者として、子どもたちの育成に尽力されました。

常盤少年消防クラブ・・・設立から40年の歴史を持ち、市内で唯一の少年消防クラブです。

子どもたちの防火意識を高め、地域消防の担い手の育成と、地区運動会においてポンプ操法を披露するなど、地域の防災意識の高揚にも寄与する活動がされてきました。



受賞者左から
月岡利郎さん
大平孝之さん
常盤少年消防クラブ
(代表者 高橋恒明さん)